

京浜協同劇団 第90回 記念公演

「眼を開いてさえいりゃ、物が見えると思ったら大間違いだ」



二本立公演



会場：スペース京浜

「わしのようなもなあ、一生しばられてるようなものでござえます」

2016年 12月	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	9日 (金)	10日 (土)	11日 (日)
朝 11時		●	●		●	●
昼 3時		●	●		●	●
夜 7時	●			●		

お知らせ 開演時間がこれまでと変わりました。開場は、各30分前です。

前売 (予約制/受付中) ・大人= 2,900 円 ・シニア= 2,200 円 (70 歳以上)

・ユース=2,000 円 (30 歳以下) ・学生=1,500 円 (当日は各 500 円増し)

◆ 障がい者の方は事前にご相談ください。

【後援】

川崎市 川崎市教育委員会 (公財) 川崎市文化財団

読売新聞川崎支局 朝日新聞川崎支局 東京新聞川崎支局 神奈川新聞社 毎日新聞川崎支局
全日本リアリズム演劇会議 川崎文化会議 川崎演劇協会

【協力】

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間



2016年12月2日(金)～12月11日(日)

めくらぶんど 出演者



小川がこう (客演) 稲垣美恵子 大谷 敏行 藤井 康雄 (ダブルキャスト)

嬰兒殺し 出演者



護柔 一 東 志野香 (客演) 広山 鈴子 (客演) 渡辺 高志 田中 耕一 若菜とき子 宮原喜美子 坂木 フミ (ダブルキャスト)

必死に生きようとする人々がいた。「貧困」と「戦争」が生きる力を容赦なく奪っていく。五十年前、百年前の二つの作品が現代をあざやかに照らしだす。

演出：藤井康雄 (めくらぶんど) 和田庸子 (嬰兒殺し)
音楽：安達元彦
照明：前川裕幸 (ライティングユニオン)
美術：伊藤厚・城谷護
大道具：伊藤厚・渡辺高志・細田寿郎
小道具：護柔一・小川がこう
音響：河村はじめ・柳沢芳信
衣裳：京浜協同劇団 衣裳部
監修：内山八重子
制作：城谷護
制作班：鬼丸ゆり・稲垣美恵子・瀬谷やほこ 坂木フミ・河村はじめ・田中耕一
舞台監督：柳沢芳信・渡辺高志
宣伝美術：護柔一

一九二〇年に発表された近代戯曲の名作。大正のはじめ、春。桜の花が咲いている、夕方。貧しさゆえに、生まれたばかりの我が子を殺した女土方(おんを)かたの苦悩。それに同情しながらも、連行せざるを得なかった巡査。二人の葛藤が心を揺さぶる。

川村光夫作 『めくらぶんど』
岩手が生んだ地域演劇の傑作。深い雪に埋もれる一軒の農家。爺さまのもとに去年亡くなった婆さまが現われる。「天皇陛下のために」戦死した息子のことが気になって成仏出来ないのだ。そこへ密造酒取り締まりの役人がやって来て……

【新人募集中】

・舞台表現を通して新たな可能性にチャレンジしてみませんか？
18才以上の市内及び、近郊にお住まいの健康な方ならどなたでも、入団できます。
★費用/入団金11万円
★月謝/七〇〇〇円
▽係までご連絡下さい。

観劇予約受付中

チケット申込
専用電話

090-4169-2637

